

ミュシャ展

ALFONS MUCHA

虜になる美しさ。



2016 10.8 [土] - 12.4 [日]

休館日 10月11日(火) 17日(月) 24日(月) 31日(月)
11月14日(月) 21日(月) 28日(月)
開館時間 10:00~18:00 (入館は17:30まで)

観覧料: 一般1,200円(1,000円) 高校生・大学生: 900円(700円)

交通案内/JR大分駅からのアクセス

バス=上野の森口(南口)バスのりばから
中心市街地循環バス「大分きゃんばす」
【大分市美術館方面】行……………約7分
タクシー=上野の森口(南口)から……………約5分
/車=大分自動車道/大分ICから……………約10分

※中学生以下は無料 ※()は前売り、20人以上の団体料金
※上記観覧料でコレクション展も併せてご覧になれます
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳提示者とその介護者は無料
※本展は「大分市美術館年間パスポート」がご利用になれます
主要前売券販売所: 大分市美術館、大分合同新聞社本社受付・同プレスセンター、トキハ会館
あけのアクロスタウン、トキハ別府店、ローソンチケット[Lコード: 81630]
チケットぴあ[Pコード: 767-844] ※前売券販売期間10月7日まで



【問合せ先】
〒870-0835 大分市大字上野865番地
TEL: 097-554-5800(代表) Fax: 097-554-5811
ホームページアドレス
<http://www.city.oita.oita.jp/>→
総合案内「楽しむ」→大分市美術館へ

主催 大分市美術館、大分合同新聞社 特別協賛 ヤクシングループ
協賛 アンジェリッククリニック 浦田、大分銀行、国際ソロプチミスト大分・みどり・府内、三井住友銀行、吉伴株式会社
後援 チェコ共和国大使館、チェコセンター、大分・チェコ友好協会、NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分
OAB大分朝日放送、エフエム大分、OCT大分ケーブルテレコム、NOAS FM、ゆふいんラジオ局
協力 堺アルフォンソ・ミュシャ館(堺市立文化館)、箱根ラリック美術館、OZAWAコレクション、KATOコレクション、OGATA
コレクション、大分大学、大分県立芸術文化短期大学、大分県立芸術緑丘高等学校、大分県立鶴崎工業高等学校
企画協力 文化企画 デザイン原案: 塩崎伊織(大分県立鶴崎工業高等学校)





◀桜草▶1899年

アルフォンス・ミュシャ(ミュシャはフランス語表記、チェコ語はムハ。1860-1939)は、オーストリア帝国に属していたチェコに生まれ、幼い時より絵を描き続け、近隣の領主エゴン伯爵にその才能を認められ、1887年、伯爵の援助を受け、パリに美術留学しました。しかし、1889年、突如、援助を打ち切られたために、挿絵などを描いて生計を立てざるを得なくなりました。

1894年の暮れ、大女優サラ・ベルナルが主演する正月公演のポスターの依頼を受け、短期間でポスター《ジスモンダ》を制作、このポスターは圧倒的な人気を博し、ミュシャは無名の挿絵画家から一躍、デザイン界のスターとなりました。

その後、サラの芝居のポスターをはじめ、菓子、香水、自転車、旅行などの広告ポスターや装飾パネル、さらに豪華本の挿絵などを次々に制作、1900年にはパリ万国博覧会でも注目を集め、アール・ヌーヴォーの旗手としての地位を不動のものとししました。

1910年、パリでの栄光を捨て故郷チェコに帰り、スラヴ民族・文化に関わる作品に取り組み、そして、1918年独立を果たしたチェコスロバキアの国家行事のポスター、紙幣、切手などのデザインを次々に手がけました。

本展では、代表作《ジスモンダ》をはじめ、ポスターから、装飾パネル、本の挿絵、雑誌の表紙、ポストカード、切手、紙幣に至るまでミュシャの制作活動の全容を紹介します。



◀羽根▶1899年

関連の展覧会 《観覧無料》

- (1) 高校生によるミュシャポスターデザイン展
会期: 10月5日(水)~10月20日(木) 10時~18時
- (2) ideal Picture2016 [0と1]
会期: 11月10日(木)~11月27日(日) 10時~18時
※最終日(11/27)は16時まで
(1)(2)ともに場所: 美術館研修室

講演会 《聴講無料》

- (1) 日時: 平成28年11月6日(日) 13時30分~15時
講師: 菅 章(大分市美術館館長)
演題: ミュシャとその時代
- (2) 日時: 平成28年11月12日(土) 13時30分~15時
講師: 於保政昭氏
(大分県立芸術文化短期大学デザイン専攻講師)
演題: [0と1]ミュシャ
※(1)(2)ともに場所: 美術館ハイビジョンホール

コレクター尾形寿行のギャラリートーク 《観覧券必要》

- 日時: 平成28年10月8日(土) 10時~、13時~、15時~
10月9日(日) 10時30分~、13時~、15時~
場所: 企画展示室 ※解説時間: 1時間程度

原きよ 美術館朗読ライブ企画

「ミュシャ展に寄せて」《聴講無料》

- 日時: 平成28年10月23日(日) 15時~16時
場所: 美術館ハイビジョンホール
出演: 原きよ氏(朗読家)
内容: ミュシャが挿絵を描いた絵本「白い象の伝説」の紹介と朗読。
定員: 80人(先着順)

音楽会 《聴講無料》

- 日時: 平成28年11月20日(日) 14時~15時
場所: 美術館ハイビジョンホール
演奏: 河井美恵氏(ソプラノ)、小町美佳氏(ピアノ)
内容: 「フランス歌曲の音楽会」ドビュッシーほか。
定員: 80人(先着順)

「ミュシャ風」イラスト募集

- ミュシャを連想させるイラストを募集します。
- 応募方法: 官製ハガキもしくは同じ大きさ(10×14.8cm)の厚紙を用いて、表面に住所、氏名、電話番号を記入し、裏面にイラストを描いて応募してください。
- 応募期間: 平成28年10月1日(土)~11月10日(木)消印有効
- 応募先: 大分市美術館ミュシャ展イラスト募集係
- 展示期間: 平成28年10月8日(土)~12月4日(日)
- 展示場所: 大分市美術館内
- 賞: 優秀者10名に○ちゃんマグカップ(1個)、ミュシャ展招待券(2枚)を差し上げます。
- 作品返却: 平成28年12月5日(月)~12月27日(火)
※休館日を除く ※返却場所: 美術館エントランスホール受付
※返却期間終了後の返却には応じません。

＜展示解説＞ 《観覧券必要》

- 日時: 会期中毎週水曜日14時~(30分程度)
- 場所: 美術館企画展示室 担当: 美術館職員

＜ワークショップ＞

- (1) 自分のミュシャをつくろう 大人のぬり絵講座
日時: 平成28年10月9日(日)、16日(日)
各13時30分~15時30分
講師: 塔鼻映子氏(カラーデザイナー)
場所: チャイルドハウス
対象: 高校生以上
定員: 各12人 ※多数時は抽せん
内容: ミュシャ作品のぬり絵、仕上がったぬり絵を自宅で飾れるようにアクリル額に入れて完成。
材料費: 1,200円(アクリル額代)
《事前申し込み必要》
- (2) 髪飾りを作ってなりきりミュシャ!
日時: 平成28年11月13日(日) 13時30分~16時
場所: チャイルドハウス、企画展示室
講師: 廣瀬剛氏(大分大学教育学部教授)
対象: 小学生~高校生
ただし、小学2年生以下は保護者同伴
定員: 10人 ※多数時は抽せん
内容: 紙や金属を使ってミュシャ風の髪飾りを作ります。
材料費: 700円
※同伴の保護者は観覧券必要
《事前申し込み必要》
- (3) デモンストレーション【体験・複製技術】
日時: 平成28年11月13日(日) 16時30分~18時
場所: 美術館研修室
講師: 於保政昭氏(大分県立芸術文化短期大学デザイン専攻講師)
野村菜美氏(大分県立芸術文化短期大学非常勤講師)
大分県立芸術文化短期大学メディアデザインコース於保研究室
《参加無料》《当日参加可》
- (4) ミュシャ【もしゃ】スタンプ
日時: 平成28年11月27日(日) 13時~15時30分
場所: 美術館研修室
講師: 於保政昭氏(大分県立芸術文化短期大学デザイン専攻講師)
野村菜美氏(大分県立芸術文化短期大学非常勤講師)
大分県立芸術文化短期大学メディアデザインコース於保研究室
対象: 小学3年生以上
定員: 20人 ※多数時は抽せん
内容: ゴム版を使いミュシャ作品の原寸大の作品を作ります。
《参加無料》《事前申し込み必要》

ワークショップの事前申し込み方法

締切: (1)9月25日、(2)11月1日、(4)11月11日 ※全て消印有効
往復はがきに、下記の内容を記入し、大分市美術館ミュシャ展係までお申し込みください。

- 【往信】①ワークショップ名 ②参加者全員の氏名
※(2)「髪飾りを作ってなりきりミュシャ!」、
(4)「ミュシャ【もしゃ】スタンプ」は参加者の年齢を必ず記入
- ③参加者の代表者・保護者の住所・電話番号

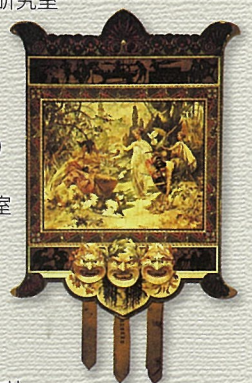
【復信】代表者・保護者の氏名・郵便番号・住所 【ホイットマン社のチョコレート缶容器】1900年



◀黄道十二宮▶1896年



「ポストカード」
1900年部分



◀パリの審判▶
1894年

